

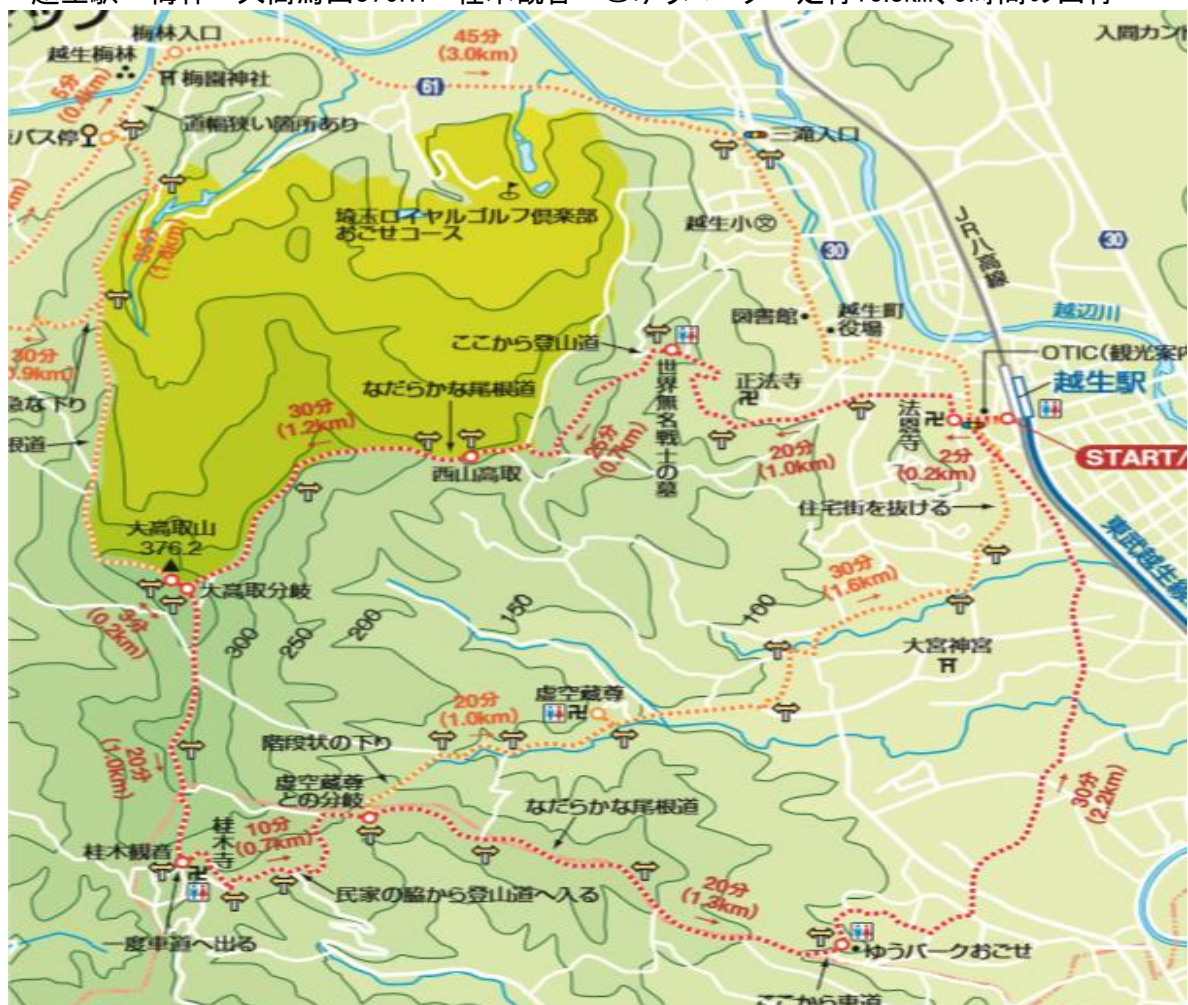
2020年2月29日

冬に梅梅、越生梅林：梅まつり

(^♪あかりを点けましょ、ぼんぼりに ぼんぼり真っ暗な五人衆が越生駅に集合



越生駅→梅林→大高鳥山376m→桂木観音→ゆゆうパーク 走行10.3km、5時間の山行





越生梅林にやってきた越生バイキン隊



李下に冠を正さず、瓜田に履を納れずか！ 訳の解らないことを呟いてます



桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿



園内にはミニSLが走り、屋台がずらり並んでいます





何が辛いと言えばマスクつけての登山、この甘いマスクを隠さなければならぬのが辛い



大高取山頂上376m、珍しく山頂標はなしと紹介されている



山腹を巻くように下った幕岩展望台がコースで1番の見晴らし→関東平野を一望

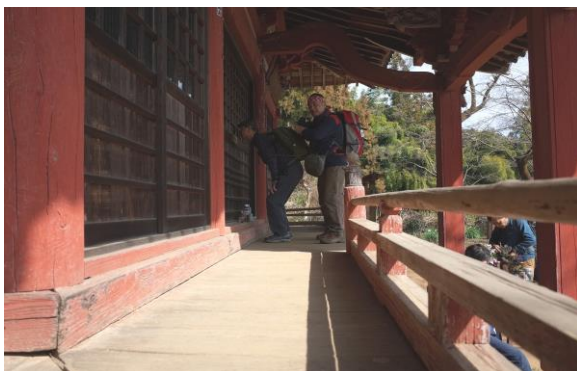




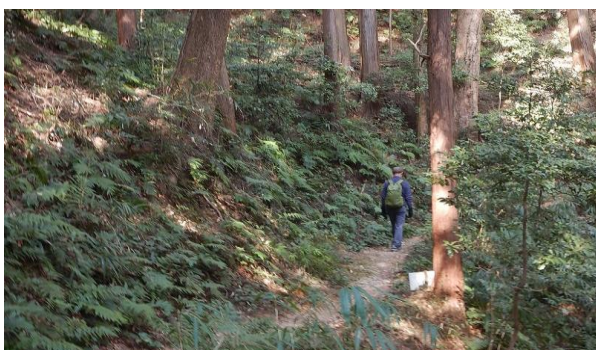
桂木観音：埼玉県入間郡毛呂山町滝ノ入817 創建者は奈良時代の僧・行基  
 行基が東国を行脚したとき、奈良大和葛城山に似てるところからこの地を『桂木』と名付けた。  
 この観音堂には千手観音立像を安置し、これらたぐいの行いの悪い者たちに行儀を正している。



今までやってきたこと許してえ、お願い、かんのんしてえとお祈りしてます。



桂木観音にお参りするとどこかしら行儀のいい歩きになります



ゆずとソーラパネルの町





松村さん竹安さんとで梅林に来て松竹梅、ビールが『ウツメエー』



## 越生ご当地アラカルト

初春の令月にして気淑く風和らぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭じはいこの香を薫らす

## 元号令和と越生梅林

関東三大梅林の一つに数えられている越生梅林は、千三百五十年頃に九州の太宰府から小杉天満宮（現梅園神社）を分祀した際、菅原道真公にちなんで梅を植えたことが起源とされています。元号の令和は、万葉集を典拠とし、歌人大伴旅人が大宰府長官時代につくった梅の花の歌の序文「初春の令月にして、気淑く風和らぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫らす」から引用されました。

越生梅林の梅は、厳しい寒さを乗り越え早春に見事に咲き誇ります。いにしえから脈々と咲き続けるこの梅の花を眺めていると、自然を愛すること、時代を引き継いでいかなければならないという先人の熱き想いが伝わってきます。古来こよなく愛されてきた梅。歴史ある越生梅林では、歌人旅人の想いが映し出され、明日への希望が馥郁たる梅の香りに乗って満ちてきます。

令和元年十二月吉日

越生町  
一般社団法人越生町観光協会

## ◎太田道灌生誕の地



七重八重  
花は咲けども山吹の  
実のひとつだに  
なきぞ悲しき

### 『ハイキングのまち』越生

世界無名戦士の墓からの関東平野の眺望

おすすめスポット

- 越生梅林
- 関東三大梅林
- さくら山公園・新さくら山120種類の桜
- 五大寄つじ公園
- 黒山三滝
- 上谷の大クス
- 関東一の巨木

越生梅林は約1500本の梅、300種類以上の品種があり、桜や山吹など、四季を通じて楽しめる。また、梅林の周辺には、太田道灌の墓や、菅原道真の墓など、歴史的な名所も数多くある。